

2023

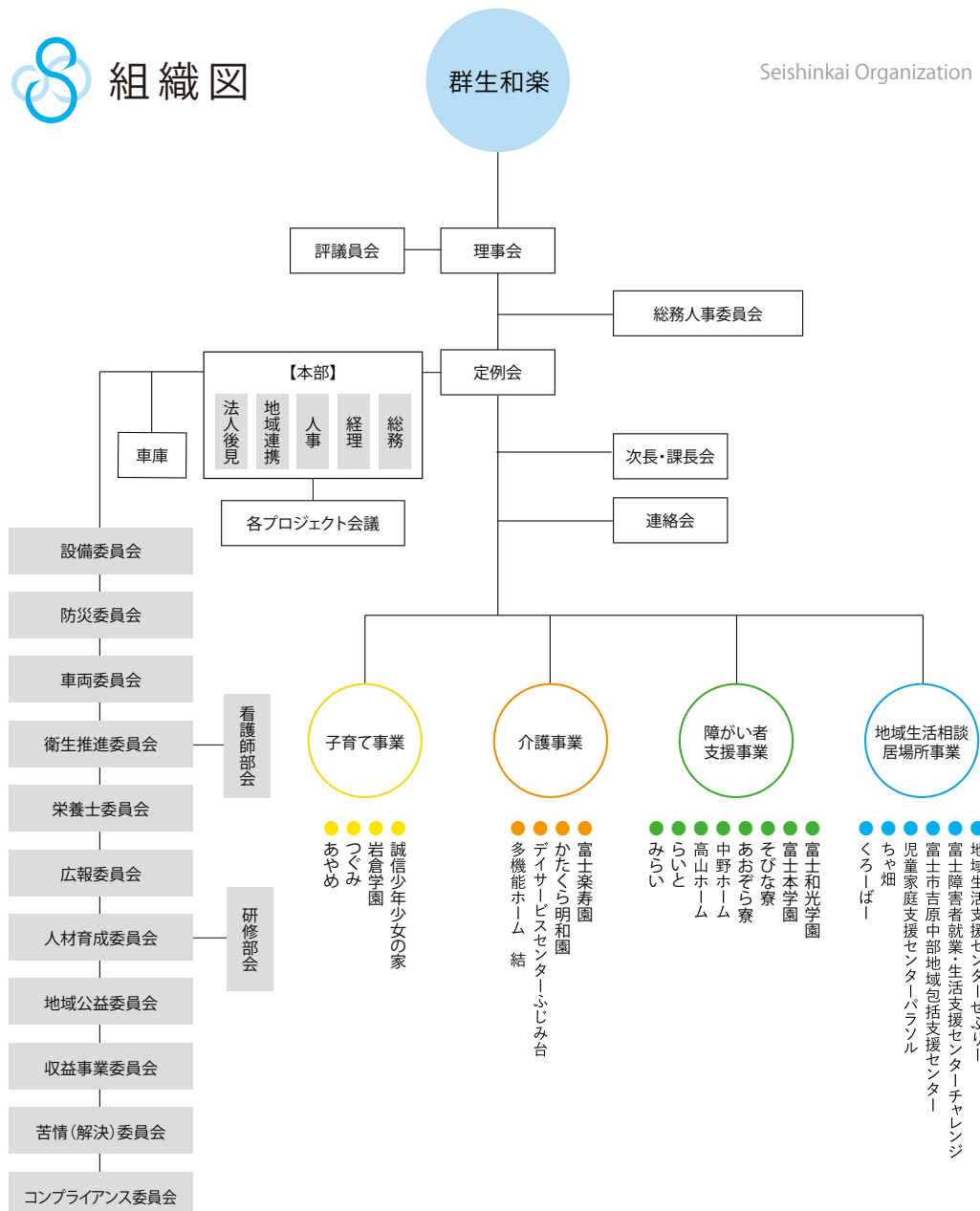
社会福祉法人 誠信会

# 誠信会レポート



ふじ ふくしの里

SEISHIN KAI



## Contents

理事長挨拶	1
児童部門①	2
児童部門②	3
介護部門①	4
介護部門②	5
障害部門①	6
障害部門②	7
障害部門③	8
創立 60 周年記念事業	9
2022 年度決算報告①	10
2022 年度決算報告②、設備レポート	11
ボランティア、寄付	12



社会福祉法人 誠信会  
理事長 長谷川 文徳

## 心の修行

### 60周年の御礼

誠信会は、昨年創立60周年を無事に迎えることができました。これまでご縁を頂きました皆様には厚く御礼を申し上げます。

また、去年は特別養護老人ホーム富士楽寿園の新築移転及び新たに地域小規模児童養護施設あやめをスタートすることができました。そして、本年度の事業では60年の歴史を振り返り誠信会らしさ（コーポレートアイデンティティ）を大事にした組織風土づくり、ICT化や中長期事業

計画の見直しを図ります。また、NINOMARUvillage事業として富士楽寿園跡地の活用の推進も致して参りたいと思いますので、これからも皆様には御指導を頂けますようお願い申し上げます。

### 意識の低下

さて、去年は県内で人的なミスや不適切な保育による事件や事故が起きました。たしかに、近年の福祉業界は、働き手の不足などによって重労働な環境になっていますが、働く人の意識が低下した環境になっているとも感じています。このことは福祉業界だけではなく、様々な業界で人の意識が低下していると思います。要するに、多くの事件や事故は“人の意識の低下”つまり人の心のあり方が問題となり起こっていると考えられます。

### 煩惱の三毒

ところで、仏教では人の心には108種類の煩惱があると言います、とくに、損得で判断する「貪欲」・快不快で行動する「瞋恚」・愚かで道理を知らない「愚痴」が煩惱で最強の三毒「貪瞋痴」と言われており、私たちに苦しみと悩み（苦悩）を生み出すとされています。このことは、まさに現代社会の人の心を表していると思います。このまま社会全体の意識が低下して、さらに社会のモラルやマナーなどが低くなれば、もっと苦しみと悩みの多い社会になるのではないかと危惧するところです。

このような人の心が乱れた時代だからこそ、誠信会では心の育成を大事にして事業を進めています。これまでも理事長として職員を対象に以下の趣旨にそって、毎月「禅は心の修行です」のタイトルで文章を伝えてまいりました。※本年度より誠信会ホームページにも掲載

### 心の修行の趣旨

『人には心があります。心は精神や魂とも呼ばれ人格を成すものです。そして、その人格には品格があり、心の育て方によって上品にも下品にもなって人柄や性格として表出します。また、人は人格の持つ価値観によって善悪を判断します。そして、その価値観に正しい見識が育っていなければ、どんなに知恵や知識を得たとしても誤った道に進みます。だから、社会で起こる多くの悲しい出来事は、この人格によって引き起こされているとも言えるのです。ゆえに、“心の修行”心の育成による人格形成は私たちの人生を大きく左右するものであり、社会にも大きな影響を与えるものです。だからこれからの社会では、とくに子どもたちの心を育成する環境づくりが大きなテーマになると考えます。

さて、誠信会の理念は「群生和楽～すべての人々の幸福のため～」です。そして、その幸福は心を感じるものなので、“心の修行”心を育て「精神的な豊かさ」が身につかなければ、本当の幸せを感じることは難しいと思います。また、私たち福祉の仕事においても精神的な豊かさが乏しければ、ホスピタリティ精神も培われず他者への思いやりに欠けた支援になるでしょう。

さらに、精神的な豊かさは、今日の私たちが目指すべき「多様性・公平性・包括性（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）」な社会のためにも大事であり、あまねくすべての人が平等にもつ「人権」が尊重されるためにも求められるべきものだと考えます。したがって、誠信会では心の育成を大切に精神的な豊かさをもつ人格形成がなされるよう努めて参りたいと思います。

職員、ご縁の皆様には心の修行の言葉をお知らせして参りますので御参究のほどよろしくお願い致します。（誠信会ホームページより）

### 幸せになる権利

これからは、ますます人の心のあり方が問われる社会になるでしょう。とくに、誠信会の理念「群生和楽～すべての人々の幸福のため～」実践のためにも、「幸せになる権利」が尊重される社会になることを願うところです。残念ながら、今の社会には偏った思想により多様性を認めず「幸せになる権利」を奪う人もいます。しかし「幸せになる権利」は、あまねくすべての人が平等に持つ権利です、他者を尊重する心を育てることが大事だと考えます。いずれにしろ大切なことは、未来の社会を善くも悪くも変えるのは私たちの心の育て方次第だということです。

従って、誠信会では今後も職員と共に心の修行に努めて参りますのでよろしくようお願い申し上げます。

## 児童部門① \*誠信少年少女の家・あやめ・つぐみ・パラソル\*

### ■ 誠信少年少女の家・あやめ

◆施設長：中山 剛

誠信少年少女の家の分園として、地域小規模児童養護施設あやめを開所して1年が経過しました。本体施設と物理的に離れていること、子どもの学区変更が伴うこと、限られた職員で子どもの日常的な衣・食・住を支えなければならないこと等、不安を抱えた始まりでしたが、何よりも新生活を楽しむ子どもたちの姿に勇気づけられた1年でした。

これからは、本体施設の機能と分園の機能、それぞれの特色を出していくことをめざして事業運営をすすめていきたいと考えています。

### ■ つぐみ

コロナウイルス感染症の影響で、ご利用者様には多くの協力を頂いた1年でありましたが、おかげさまで大過なく事業をすすめることができました。

社会問題として保育事故、不適切保育が大きく取り上げられた中、職員間で“つぐみの保育サービス”について改めて考える契機としました。また、地域とのつながりが少なくなった数年を振り返り、アフターコロナでの地域との関わりについて、関係各所と協議をすすめた1年となりました。

### ■ パラソル

平成25年4月に開所し、無事に10年を過ごすことができました。児童家庭支援センターを使っただけから始まり、おかげさまで相談だけではなく、里親支援、社会的養護自立支援と事業の幅を広げることができました。

一方で10年前と比べると、子どもや子育て家庭を取り巻く環境が、大きく変わってきていることを実感しています。これからも皆様から必要とされるセンターであることをめざし、常に新たな取組を模索していきたいと考えています。



## 児童部門② ＊岩倉学園＊

### ■ 岩倉学園

◆施設長：長谷川 文徳

本年度から岩倉学園の施設長に新任しました。

まだまだ勉強不足ですが、子どもたちや職員と共に成長していきたいと思いますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

さて、施設長として子どもたちのアイデンティティの形成を大事にしたいと思っています。とくに、子どもたちが青年期に形成するアイデンティティは人格となって人生を左右します。善い人格を形成すれば自ずと善い人生になり、悪い人格を形成すれば自ずと悪い人生になるものだと考えます。

発達心理学者エリクソンによれば、自我アイデンティティの感覚とは、「内的な斉一性と連続性を維持する各個人の能力（心理学的な意味での各個人の自我）が他者に対する自身の意味の斉一性と連続性とに合致する経験から生まれる確信のことである」と言っています。どうやら、アイデンティティの形成には、自分だけでなく他者の存在が大きく影響するようです。要するに、人や社会との関わり合い方がとても大切になるのです。だから、これから子どもたちには、人とのつながりや社会的な役割を果たす経験などを通して身につけてほしいと考えています。

それから、今後の児童福祉は子どもたちの自立支援ができる環境づくりが大切だと考えます。それは、社会人として自立した生活ができるだけでなく、社会的な役割を果たせるようになる環境づくりです。

当然ですが私たちは社会の中で生きています。そして社会とは、独りでは生きられない弱い生き物である人が、共に助け合い生きていくためのシステムであり、それぞれの人が社会的な役割を果たさなければ、社会が機能を失くなります。

また、親は子どもより先に死を迎えます、子どもは親から離れ社会で自立して生活できるようになることが自然な命の営みです。だから、子どもには第一次社会化の基本的な生活習慣の習得及び第二次社会化の社会的な役割の習得を手伝う社会化の担い手の存在が重要だと言われます。したがって、家族や地域社会が子どもたちの社会化の担い手となる環境を整えることが求められるのです。

ゆえに、岩倉学園では子どもたちの社会化の担い手としての役割を果たすだけでなく、地域社会も社会化の担い手となれるように、家族の支援・地域の支援なども充実させたいと思います。

これから子どもたちを育てる環境づくりを皆様と共に育みたいと思いますので今後ともよろしくご協力をお願いします。



## 介護部門① ＊富士楽寿園・かたくら明和園＊

### ■ 富士楽寿園

◆施設長：黒崎 昭彦

富士楽寿園は広域型ユニット型個室と地域密着型多床室として、移転リニューアル1年目を終えました。サービス提供の形が大きく変わったことで、職員一同、試行錯誤の1年となりました。ご利用者様も新しい生活や環境に馴染むまで、色々ご協力をいただきました。2年目はより一層安定的な経営基盤を築き、より良いサービス提供に努めてまいります。

また、ICTの更なる活用を進め、根拠を伴う科学的介護の実践や、職員の業務省力化につなげていきたいと考えます。

移転に伴い、新たに町内に参入させていただいておりますので、地域とのつながりや、社会参加にも取り組んでいきたいと思っております。また、社会資源としての役割についても、できる形を作りたいと考えます。

### ■ かたくら明和園

かたくら明和園は開設15周年を迎えることができました。積み上げてきたものを大事につないでいきたいと思っております。日々の実践成果も、研究発表会を開催し確認しました。職員相互に高め合い、より良いサービス提供につなげていきます。

15周年を迎え、設備の老朽も大分進んできました。ご利用者様の安心、安全な暮らしを提供する上でも、しっかりと修繕計画を立て、安定したサービス提供が行えるよう協議してまいります。富士楽寿園と共に、地域包括ケアシステムの一翼を担うべく、その役割や機能を明確にし、中長期計画に反映してまいります。

コロナ禍は、面会の制限などがあり、ご利用者様やご家族にはつらい期間となりました。対外的な行事なども中止が多くなってしまいました。5類に移行したとはいえ、高齢者施設としてのリスク管理をしっかりと行い、感染対策を行いながら、人と人のつながりを再構築していきたいと考えます。

ご利用者様、ご家族、関係者の皆様には、富士楽寿園、かたくら明和園の経営にご理解とご協力をいただき、大変ありがとうございます。今後も忌憚なきご意見をたまわり、より良いサービス提供につなげてまいります。



## 介護部門② ＊ふじみ台・富士市吉原中部地域包括支援センター・多機能ホーム結＊

### ■ ふじみ台・富士市吉原中部地域包括支援センター・多機能ホーム結 ◆施設長：松本 知子

私たちは、介護保険制度の理念である「自立支援」の実現に向け「身体的」「精神的」「社会的」側面から課題解決を捉え、ご利用者様の「暮らしを整える」ためミニ勉強会やカンファレンスを通じ、自立支援について理解を深める取り組みを行いました。

令和2年から新型コロナウイルス感染症の流行により、ご利用控えやサービスの縮小・休止が、ご利用者様の心身に与える影響が大きいことを目の当たりにしました。それぞれの事業が「誰のため・何のため」にあるのか、私たちが果たす役割と機能について考える機会となりました。

各事業所では、感染症予防のため行動制限など配慮しなければならないことがありましたが、ご利用者様同士が「元気だった?」「みんなと食べるごはんはおいしいね」と感じられるプログラムの実施、相談援助の場面では連絡方法や時間を工夫することで「気にかけてくれてありがとう」などと笑顔で話されることもありました。

さらに、この3年間は地域交流行事等が開催できない状況にありました。そのような中でも、青葉台エリアにある多機能ホーム結・小規模保育所つぐみ・居場所ちや畑では、青葉台エリア会議を開催し、屋外にカフェスペースを設けるなど「今できること」から始めました。ふじみ台では、富士見台地区暮らし支え合いセンターの活動に参加し、途切れてしまった地域と顔の見える関係づくりを始めました。

ふじパワフル85計画VI（第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画）によると、高齢化率は平成27年には24%でしたが、令和2年には27.6%と上昇しており、令和2年3月時点で7,031人に認知症の症状が確認され、令和7年には8,238人、令和22年には1万人を超えると見込まれています。

そこで、私たち事業所は社会資源の一つとして「だれもが住み慣れた地域で暮らし続けたい」との思いを支えるサービスの提供に向け、みんながつながっていく安心感と福祉職・専門職の目線だけでなく地域の一人の「ひと」として「これができるかも」と創造し、実践できる組織に成長していきたいと考えています。



## 障害部門① ＊富士和光学園＊

### 富士和光学園

◆施設長：半澤 哲永

富士和光学園では、「それぞれの個性・人格を尊重し、ご利用者様の自己実現を目指した支援を行います」という施設運営方針のもと、地域で拡大し続けたコロナに対し、コロナ禍3年目ではありましたが、感染予防対策を徹底した上で、常にご利用者様の視点に立ち、質の高い生活の場の構築を進めてきました。その結果、幸いにも職員、ご利用者様とも感染者を出すこともなく、無事に1年を過ごすことができました。

ただ、昨年度と同様に、24時間365日の生活支援の中で感染症を防ぐ難しさを改めて痛感した年度でもありました。また、引続き和光学園においては、ご利用者様、職員共々4回目のワクチン接種をご本人、ご家族、後見人の承諾の下、滞りなく済ませています。

ご利用者様の活動につきましては、コロナ禍の為、ご利用者様の希望に基づいた個別外出や余暇活動を積極的に進めることは出来ませんでした。春のお花見外出、七夕行事、夏の花火鑑賞とプール遊び、秋の誠信会60周年記念式典への参加、新年会など、創意工夫の下、できる範囲で対応実施致しました。

地域との交流につきましては、コロナ禍の制限のある中でも、アートDE富士への参加、とらや様の訪問販売車による衣類等の購入、りぼん様による駄菓子の出張販売、株式会社エスパルス様が企画するサッカー教室への参加など、ご利用者様と共に職員も一緒になって楽しむことが出来ました。

職員の資質向上につきましては、各種研修にできる範囲で参加し、年度末には、職員研究グループによる研究報告会を開催しました。富士和光学園では「説明できる支援」を目標としており、今後もより良い支援が実践できる人材の育成に努めて参ります。





## 障害部門② ＊富士本学園・らいと・みらい・せふりー＊

### ■ 富士本学園・らいと・みらい・せふりー

◆施設長：深澤 健一

2022年度は新型コロナ予防対策・対応に終始した1年でした。富士本学園では3月上旬から下旬にかけて、残念ながらご利用者様38名、職員5名が罹患しました。幸い誰も重症化することなく終結しましたが、24時間365日支援を求められる入所施設での感染防止の難しさを実感いたしました。

コロナ感染症により閉塞的な生活が強いられてしまうご利用者様が、少しでも楽しめるように、富士本学園では千田先生のご協力の下「アート DE 富士」を富士市交流プラザで地域の皆さんと一緒に実施したり、職員が創意工夫を凝らして岩倉広場で「秋祭り」を行いました。またボランティアで二胡奏者を招いて和やかな時間を過ごしました。

くろーばー（みらい・らいと）においては、通所ご利用者様のコロナ罹患から、やむを得ず一時事業を休止するなどして対応致しました。そのような中でも「らいと」では、毎週木曜日に活動としてくろーばー周辺の清掃をご利用者様と職員が一緒に行いました。小さなことですが、ご利用者様と職員がこのように清掃活動することで、地域貢献できているのではないかとうれしく思う場面です。

また、2022年度は富士山女子駅伝応援企画で、かたくら明和園職員、法人本部職員と一緒に、駅伝コース内の清掃を行うことができました。またテレビ取材なども受け、普段行っている地域貢献の活動を見ていただくことができご家族にも喜ばれ、さらにご本人たちの自信につながるとても良い機会となりました。

「みらい」では職員がいろいろとアイデアを出し合い、子どもたちとともにスポーツ活動を日々楽しむことができました。

「せふりー」では、令和3年6月に「医療的ケア児およびその家族に対する支援に関する法律」の成立に伴い、支援活動が活発化するとともに、県や市、関係機関と連携し「出会える学べる講演会」の実施や重症心身障害児（者）支援多職種連携について、県内4圏域の発表会の中で、富士地区の多職種チーム会議について報告いたしました。

今後もコロナ感染症の状況を鑑みながらも、以前のような通常的生活・活動に戻れるように邁進してまいります。



## 障害部門③ ＊そびな寮・あおぞら寮・中野,高山ホーム・チャレンジ＊

### そびな寮・あおぞら寮・中野,高山ホーム・チャレンジ

◆施設長：平野 和喜

世の中が少しずつウィズコロナに移行してきた令和4年度ですが、会社通勤や事業所への通所をされるご利用者様が多いグループホームという特性を活かすべく、感染予防に最大限の注意を払いながら「普段通りの生活」の場の提供を行ってまいりました。ご利用者様には不便な思いをお掛けしましたが、どなたも協力的な姿勢で過ごされ、職員側が助けられる場面が多々ありました。職員も事業継続計画に則って感染拡大の防止に努め、おかげさまで感染者数も最小限に抑えることができました。改めてご利用者様に感謝申し上げる次第です。

また、コロナ前は就労に対する余暇支援の一環として個別外出という形で旅行を楽しんでこられたご利用者様も、この2年間は長い我慢の期間を過ごしてまいりましたが、7月から再開の運びとなり、久しぶりの旅行にご利用者様もリフレッシュできたようで、観光を楽しんだり、たくさんのお土産を買ったりして満足の笑みを浮かべておられました。お土産はご自身の職場で振舞われ、笑顔の輪が広がったようです。生活全般もコロナ前の生活に戻りつつあることを実感しています。

昨年度は誠信会創立60周年という記念の年を迎えました。そびな寮も平成2年4月に富士市から委託されたのを皮切りに、中野ホーム、高山ホーム、あおぞら寮が順次設置され、措置制度から障害者総合支援法による契約制度への変更という時代の趨勢とともにスタイルを替えながら、総勢40余名が生活するグループホームとして32年の歴史と月日を過ごしてまいりました。この間、「社会性・お金（金銭管理）・仕事・余暇・健康」の5つの柱の支援のもと、社会的自立を求める多くのご利用者様が、行政や相談支援、地域資源等の関係機関からの支援を受けながら生活の場を地域に移し、地域で、会社で活躍しています。私たち職員一同も、ご利用者様の最善の利益を目指してこれからもおひとりおひとりに寄り添い続けてまいります。

「チャレンジ」は就業・生活支援センターとして17年が経過しました。三障害はもちろん、難病も含めすべての障害の方々を対象であり、医療機関とも連携し、仕事と生活の安定を目指し、支援の強化に努めています。

今後も地域で「基幹型機能」を果たし、就労におけるトータルコーディネートをする機関として、地域関係機関の支援ネットワークの強化、充実を図り「障害者雇用の理解・拡大」に向け事業を進めてまいります。



## 創立 60 周年記念事業

### ■ 創立 60 周年記念事業



当法人は、令和 4 年 11 月 1 日に、おかげさまで創立 60 周年を迎えることができました。

今回は、コロナ感染症対策として、規模を縮小して、岩倉観音まつりと一緒に、創立 60 周年記念事業として、令和 4 年 11 月 10 日（木）11：00～13：00 に、岩倉広場で行われました。

「創立 60 周年を迎えるにあたり、携わってこられたすべての方々への感謝と  
想いを良好なコミュニケーションを通して未来へ繋げていく場としたい。」

上記をコンセプトに、岩倉観音法要、勤続表彰、スタンプラリーイベント、キッチンカー、ありがとうパネル等、短い時間でしたが楽しいひとときを過ごしました。

勤続表彰には、5 年勤続・15 年勤続の職員が長谷川理事長から表彰状を受け取りました。ご利用者様と一緒に職員の勤続をお祝いいただきました。勤続表彰者の職員の皆さんも、ご利用者様からのあたたかいお言葉や祝福のお気持ちが、これからのパワーになることと思います。スタンプラリーには、NINOMARU village に関わるクイズ問題が、エリア内に設置されました。ご利用者様や職員が楽しみながら、各所をまわりました。たくさんの笑顔が見られました。

コロナ禍で、法人イベントの中止が続き、施設間の対面での交流がなくなった数年でした。規模縮小でも、久しぶりに会えた他施設のご利用者様と職員と笑顔で談笑する姿がとても印象的でした。また、ありがとうパネルでは、各施設で感謝をこめた展示物で彩りを添えました。日頃、なかなか伝えられなかった「感謝」の気持ちや 50 周年からの 10 年間の振り返り写真等、施設ごとの思いを形にして、ホームページでも掲載いたしました。

2023 年 11 月には、岩倉観音まつりの開催を予定しています。久しぶりに、ご利用者様・ご家族の皆様、地域住民の皆様等、多くの皆さんとの交流を楽しみにしています。



## 2022年度決算報告①

### 法人単位事業活動計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

(単位: 円)

科目		当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部	介護保険事業収益	606,243,811	575,179,212	31,064,599
	児童福祉事業収益	477,807,002	427,115,980	50,691,022
	保育事業収益	34,721,910	34,380,372	341,538
	障害福祉サービス等事業収益	697,293,241	689,969,976	7,323,265
	経常経費寄附金収益	3,018,000	5,170,300	△ 2,152,300
	サービス活動収益計(1)	1,819,083,964	1,731,815,840	87,268,124
	人件費	1,193,601,860	1,171,761,414	21,840,446
	事業費	290,326,552	254,731,014	35,595,538
	事務費	214,114,672	206,007,083	8,107,589
	利用者負担軽減額	1,909,121	1,291,622	617,499
	減価償却費	110,936,066	79,596,240	31,339,826
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 63,879,401	△ 28,216,258	△ 35,663,143
	徴収不能額		16,497	△ 16,497
	サービス活動費用計(2)	1,747,008,870	1,685,187,612	61,821,258
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	72,075,094	46,628,228	25,446,866	
外増減の部	サービス活動外収益計(4)	9,955,859	9,221,884	733,975
	サービス活動外費用計(5)	7,052,307	6,483,443	568,864
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,903,552	2,738,441	165,111
経常増減差額(7)=(3)+(6)		74,978,646	49,366,669	25,611,977
特別増減の部	特別収益計(8)	512,632,436	12,121,419	500,511,017
	特別費用計(9)	555,664,615	12,096,007	543,568,608
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 43,032,179	25,412	△ 43,057,591
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		31,946,467	49,392,081	△ 17,445,614
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	938,950,850	951,274,213	△ 12,323,363
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	970,897,317	1,000,666,294	△ 29,768,977
	その他の積立金取崩額(14)	128,451,600	82,107,571	46,344,029
	その他の積立金積立額(15)	118,916,401	143,823,015	△ 24,906,614
次期繰越活動増減差額(16)=(13)+(14)-(15)		980,432,516	938,950,850	41,481,666

### 法人単位資金収支計算書

(自) 令和4年3月31日 (至) 令和5年3月31日

(単位: 円)

科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	介護保険事業収入	607,015,000	606,243,811	771,189
	児童福祉事業収入	464,724,000	477,807,002	△ 13,083,002
	保育事業収入	34,708,000	34,721,910	△ 13,910
	障害福祉サービス等事業収入	698,915,000	697,293,241	1,621,759
	借入金利息補助金収入	43,000	42,560	440
	経常経費寄附金収入	2,918,000	3,018,000	△ 100,000
	受取利息配当金収入	55,000	32,847	22,153
	その他の収入	10,551,000	9,880,452	670,548
	事業活動収入計(1)	1,818,929,000	1,829,039,823	△ 10,110,823
	人件費支出	1,190,564,000	1,186,156,826	4,407,174
	事業費支出	315,155,000	297,750,339	17,404,661
	事務費支出	221,323,000	214,543,401	6,779,599
	利用者負担軽減額	3,094,000	1,909,121	1,184,879
	支払利息支出	1,271,000	1,255,071	15,929
	その他の支出	6,062,000	5,554,436	507,564
	流動資産評価損等による資金減少額			0
	事業活動支出計(2)	1,737,469,000	1,707,169,194	30,299,806
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	81,460,000	121,870,629	△ 40,410,629	
施設整備等による収支	施設整備等収入計(4)	650,067,000	650,066,700	300
	施設整備等支出計(5)	820,826,000	818,944,228	1,881,772
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 170,759,000	△ 168,877,528	△ 1,881,472
その他の活動による収支	その他の活動収入計(7)	132,388,000	130,379,960	2,008,040
	その他の活動支出計(8)	98,495,000	122,187,001	△ 23,692,001
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	33,893,000	8,192,959	25,700,041
予備費支出(10)	5,000,000	-	2,939,000	
		△ 2,061,000		
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 58,345,000	△ 38,813,940	△ 19,531,060
前期末支払資金残高(12)		652,695,980	652,695,980	0
当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)		594,350,980	613,882,040	△ 19,531,060

## 2022年度決算報告②

### 法人単位貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増 減	流動負債	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	663,821,564	717,672,551	△ 53,850,987	流動負債	146,672,857	154,304,304	△ 7,631,447
現金預金	434,471,226	485,685,158	△ 51,213,932	未払金	44,455,887	60,502,097	△ 16,046,210
未収金	225,938,975	222,813,416	3,125,559	1年以内返済予定借入金	13,067,000	11,066,000	2,001,000
その他の流動資産	3,411,363	9,173,977	△ 5,762,614	賞与引当金	83,002,985	77,595,385	5,407,600
固定資産	2,745,203,009	2,105,369,926	639,833,083	その他の流動負債	6,146,985	5,140,822	1,006,163
基本財産	949,287,253	965,050,337	△ 15,763,084	固定負債	228,924,471	105,859,115	123,065,356
その他の固定資産	1,795,915,756	1,140,319,589	655,596,167	設備資金借入金及びリース債務	200,669,594	78,602,942	122,066,652
土地	173,888,001	137,363,183	36,524,818	退職給与引当金	28,254,877	27,256,173	998,704
建物	609,992,723	38,598,956	571,393,767	負債の部合計	375,597,328	260,163,419	115,433,909
構築物	59,340,415	50,740,001	8,600,414	純資産の部			
機械及び装置	13,372,482	4,778,087	8,594,395	基本金	531,769,849	531,769,849	0
車両運搬具	8,121,319	9,866,672	△ 1,745,353	国庫補助金等特別積立金	725,405,685	286,803,965	438,601,720
器具及び備品	80,885,766	24,508,971	56,376,795	その他の積立金	795,819,195	805,354,394	△ 9,535,199
有形リース資産	777,406	1,443,754	△ 666,348	次期繰越活動増減差額	980,432,516	938,950,850	41,481,666
その他の積立資産	824,074,072	832,610,567	△ 8,536,495	(うち当期活動増減差額)	31,946,467	49,392,081	△ 17,445,614
その他の固定資産	25,463,572	40,409,398	△ 14,945,826	純資産の部合計	3,033,427,245	2,562,879,058	470,548,187
資産の部合計	3,409,024,573	2,823,042,477	585,982,096	負債・純資産合計	3,409,024,573	2,823,042,477	585,982,096

## 設備レポート

### 特別養護老人ホーム 富士楽寿園 解体工事について

昭和50年に、富士市大淵の岩倉の地に、富士市で初めて開設されました特別養護老人ホーム富士楽寿園ですが、令和4年4月30日に建物としての役目を終えました。

令和4年10月21日 建物解体工事の安全を祈願して、長谷川理事長による法要を執り行いました。解体工事は、約4カ月の工期で、令和5年3月に終了しました。

この地については、今年度、整備を行い、次の活用について、法人内で検討していきたいと思っております。



## ボランティア 寄付 (令和4年6月1日～令和5年5月31日)

### ボランティア

※順不同・敬称略

【ボランティア名】	【ボランティア名】	【ボランティア名】	【ボランティア名】
酒井 忠明	高橋 明美	漆畑 達子	杉田 弘子
秋元 久美子	田口 裕美	小泉 美津江	長本 ひとみ
古川 秀子	二本柳 千恵美	菊池 咲菜	望月 茜
辻加 奈子	杉田 廣	中松 咲子	マルハン吉原店
長谷川 さゆり	大原 孝次	認証NPO法人 日本理美容福祉協会	鈴木 幸子(他1名)
ミステリーサークル	藤田 和一	ヘアサロントヨシマ	豊島 幸子(他2名)
吉村 千尋	芹沢 康夫	駄菓子+コミュニティスペーススリぼん	島田 圭吾(他1名)
梶田 真弓	藤本 和代	ヒーリング二胡	平左衛門 長谷川平左衛門
吉田 裕幸	平田 純子		

### 寄付

※順不同・敬称略

【寄付者名】	【寄付者名】	【寄付者名】
齊藤 久江	公益財団法人 日本舞台芸術振興会	日本鏡餅組合 理事長 樋口 元剛
勝亦 照子	NBS東京バレエ団	(株)エスパルス
興亜工業(株) 代表取締役社長 井上 淳	岩本 光弘	日本出版販売(株) 日本児童図書出版協会
大川 輝久	長島 巧	近藤鋼材(株)
(株)Daska & Desiree	デンマーク牧場	(株)ファーストリテイリング
財)日本児童養護施設財団	しずおか焼津信用金庫	サステナビリティ部
あしながサンタプロジェクト事業部	理事長 田形 和幸	(株)ドミノピザ・ジャパン本部
三興開発(株) 鈴木みどり	小鈴木 信夫	(株)松野精肉店
鍋田 哲也・聡美	ほっともっと	(株)ADEKA 労働組合
小倉 歩	NPO法人気持ちを届ける会 福田朗久	日本出版販売株式会社 静岡支店内
トヨタユナイテッド静岡(株)	後藤 和成	公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団
静岡大学オリエンテーリング部 井上 宙	(株)フルベール館	宮下 和美
亀谷 恵子	代表取締役社長 吉川 隆樹	山田 賢一
野田 正枝	(株)VELTEXスポーツエンタープライズ	佐野 紘子
故 西村 絹代	岡田 雄三	日本出版販売(株)
公益財団法人 鈴木道雄記念財団	慶昌院	代表取締役社長 奥村 景二
富士製パン(株)	日本スポーツ用品協同組合連合会	(株)小林製作所
(株)グランドリサーチ 井奥 猛	理事長 土光 光宏	馬場 昌子
アフターケア事業全国ネットワーク	(株)The SEED	清水 由美子
えんじゅ事務局	岩波 敏之	富士中央ライオンズクラブ
長尾 忠	遠藤 智 政子	合同会社 P.P.Corporation
食卓クラブ	静岡県かん水養魚協会	(株)東山書房
マルハン鷹岡店・吉原店・荒田島店	一般社団法人 日本海老協会	MCMめぐみ(株)
社)親切会中部支部	駿河男児BOXING GYM	代表取締役 浅野 智、西野 亮廣
(株)光陽社 自習ノート事務局	会長 前島 正晃	ジャトコ(株)
富士本中町西町民生委員 中野哲也	一般財団法人 みらいこども財団	長尾 芳弘 真
林正寺	全国シャンメリー協同組合	一般財団法人 篠原欣子記念財団
圓妙寺	稲葉 祐三	美栄堂
藤沢 昇	伝心寺	日本生命保険(相)
餃子の雪松運営元(株) YES	佐野 彰彦	コーポレートプロモーション部
	フィリップモリスジャパン合同会社	(株)山清倉庫
		代表取締役社長 山田 泰正



社会福祉法人 誠信会

法人本部 富士市比奈1354 TEL.0545-38-1941 E-mail:fukushi@seishinkai.info <http://www.seishinkai.info/>